

海へ

—内湾と外洋の漁労—



2022年

10月15日(土) ▶ 12月4日(日)

上高津貝塚ふるさと歴史の広場〔考古資料館〕

〒300-0811 茨城県土浦市上高津1843 TEL 029-826-7111 FAX 029-826-6088

■開館時間／午前9時～午後4時30分

■入館料／一般105円(20名以上の団体75円) 小・中学生、高校生50円(20名以上の団体30円)
*毎週土曜日は小・中学生、高校生入館無料

■休館日／毎週月曜日、11月4日(金)、11月24日(休)

■無料開館日／11月3日(木)文化の日、11月13日(日)茨城県民の日



詳しくは [上高津貝塚](#)



植物油インキを使用しています。



写真上 カタクチイワシ(アクアワールド茨城県大洗水族館提供)

写真右 マダイ(ミュージアムパーク茨城県自然博物館提供)

写真1 西方貝塚出土鉾頭(取手市教育委員会蔵)

写真2 余山貝塚出土鉾頭(國學院大學栃木学園参考館蔵)

写真3 神野貝塚出土鉾頭(鹿島神宮蔵)

写真4 寺脇貝塚出土鉾頭【福島県指定文化財】(いわき市教育委員会蔵)

写真5 大洞貝塚出土鉾頭(慶應義塾大学民族学考古学研究室蔵)

写真6 寺脇貝塚出土釣針【福島県指定文化財】(いわき市教育委員会蔵)

写真7 大貫落神北貝塚出土釣針(大洗町教育委員会蔵)

海へ —内湾と外洋の漁労—

縄文時代の人々は、海へ丸木舟に乗って出かけ、シカの骨や角で作ったヤスや釣針、土器片や石の錘をつけた網などを使って漁をしていました。

この企画展では、縄文時代に内湾となっていた霞ヶ浦と太平洋岸の貝塚から出土した漁労具を展示し、どのように魚を捕獲していたのかを探ります。

展示構成

- I はじめに —漁労具の種類
- II 外洋の貝塚と漁労
—寺脇貝塚、大畑貝塚ほか
- III 内湾の貝塚と漁労
—於下貝塚、上高津貝塚、余山貝塚ほか
- IV 外洋と内陸をつなぐ～那珂川流域～
—九石古宿遺跡、三反田蜆塚貝塚、吹上貝塚ほか
- V 縄文時代に採取された魚



記念行事

1 記念講演会

「縄文時代の漁労具」
 と き：10月30日◎ 午後2時～3時30分
 講 師：高橋 健 氏（横浜ユラシア文化館 主任学芸員）
 場 所：体験学習室
 定 員：40名
 ※事前申込（先着順）、入館料が必要です。

2 展示のみどころ解説

と き：10月23日◎ 午後2時～3時
 講 師：当館学芸員
 場 所：体験学習室
 定 員：30名
 ※事前申込（先着順）、入館料が必要です。
 ※土浦市公式YouTubeチャンネルや館内デジタルサイネージにおいて後日一部配信予定。

〈申込方法〉

1・2とも、10月4日(火) 午前9時から電話または当館受付。

秋の上高津貝塚どきどき体験 2022

昔の暮らしやジオパークを楽しく学ぼう!

と き：11月13日◎ 茨城県民の日
 午前9時～午後4時
 （紙飛行機を飛ばそうは午後3時まで）



紙飛行機を飛ばそう（共催：つちうら紙飛行機クラブ）、缶バッジづくり、ペットボトルで液状化を体験しよう、火おこし体験、土器のもようでおしりをつくろうなど
 ※事前申込不要、入館無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、企画内容の変更や中止の場合がございます。当館ホームページでお知らせします。

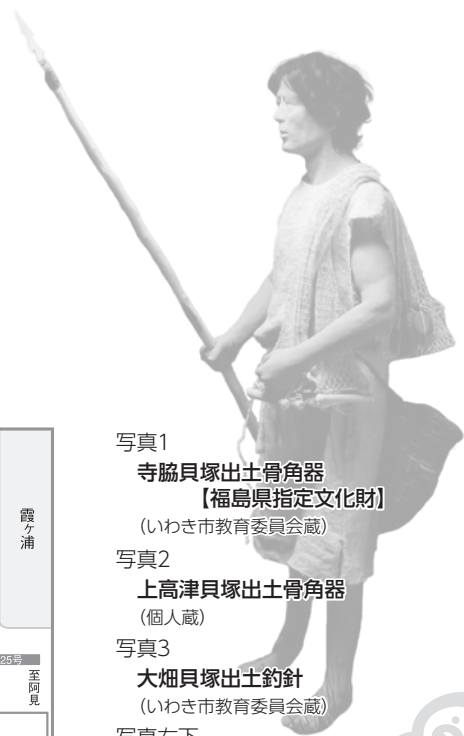
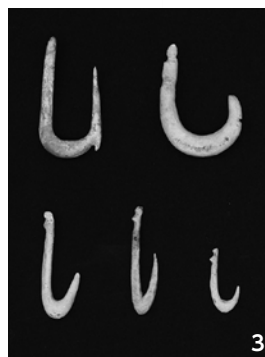


写真1 寺脇貝塚出土骨角器【福島県指定文化財】
 （いわき市教育委員会蔵）
 写真2 上高津貝塚出土骨角器（個人蔵）
 写真3 大畑貝塚出土釣針（いわき市教育委員会蔵）
 写真右下 魚とりから帰る男（写真提供 那珂川町教育委員会）

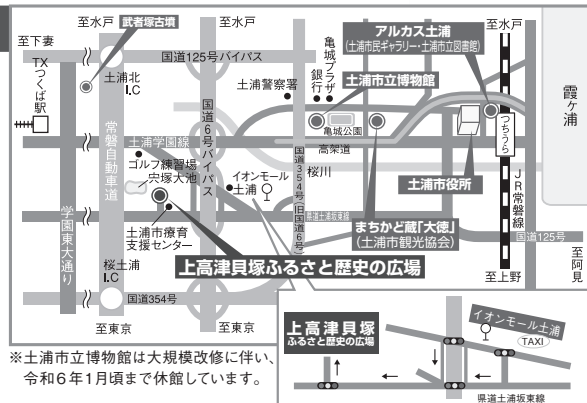
交通案内

■バスを利用される方

JR土浦駅西口6番乗り場からJRバス関東東、「イオンモール土浦」行き10分。
 終点下車徒歩20分（1.5km）、またはタクシー5分

■お車を利用される方

常磐自動車道
 土浦北I.C.または桜土浦I.C.より15分



※土浦市立博物館は大規模改修に伴い、令和6年1月頃まで休館しています。